

## ■■ 祝辞 ■■

### 学術情報センター センター長 猪瀬 博

学術情報センターの猪瀬でございます。今日は、お祝いに参上いたすつもりでございましたが、やむを得ない所用ができてまして伺えませんので、失礼ながら SINET を通しまして一言お祝いの言葉を申し上げさせていただきます。

神戸大学総合情報処理センターにおかれましては、この度、学内 LAN・KHAN を完成されまして、誠におめでとうございます。心からご祝辞を申し上げます。また、高森センター長はじめ、神戸大学の関係各位の目覚ましいご尽力に対しまして、心からの敬意を表させていただきます。

これまで、神戸大学総合情報処理センターは、躍進を続ける神戸大学の情報化の中核として大きく貢献して来られた訳でございますが、この度、学内をくまなく結ぶ光ケーブルによる超高速 LAN を完成されまして、情報への依存性が益々高まっております学術の発展に、より一層の貢献をされることと、心から期待している次第でございます。

学術情報センターにとりましても、学術情報ネットワーク (SINET) の主要拠点の一つとして、神戸大学総合情報処理センターには、格別のご支援をいただいて参りました。これまでは、256kbps の回線でしたが、今年度の予算でこれを 1Mbps に高速化することができました。今後も、さらに高速化への努力を続け、私共学術情報センターと神戸大学総合情報処理センターの太い絆、協力関係を保って参りたいと考えている次第でございます。また、学術情報ネットワークのあり方につきましても、学術研究情報ネットワークに関する連絡調整会議の主要メンバーとして、高森センター長には常日頃ご懇篤なご指導をいただいているところでございます。

申すまでもなく、新しい情報通信基盤の構築が急務であることは、今日、国をあげての課題になっております。ご承知の通り、政府におきましても、総理大臣を本部長とするところの高度情報通信社会推進本部が設置されました。実は、私も今日午前中その方の会議に出席しておりましたために神戸の方にお伺いできなくなった訳でございます。何れにしましても、やっと国としてもこの問題について本格的な取り組みが始まったところでございます。この面では、長く続いてまいりました緊縮財政のもとで、文部省等懸命に努力して下さいましたが、欧米との格差は、むしろ拡大する傾向にあった訳でございます。しかし、この 2-3 年、微かながらも明るい光が射して来たように思っております。特に、平成 5 年度の補正予算につきましても、新社会資本整備の一環といたしまして、情報システム基盤の構築ということが位置づけられ、画期的ともいわれるような財政処置がとられました。その結果としまして、神戸大学にも立派な LAN が構築されるようになったことは、ご同慶の至りでございます。しかしながら、これは、学術情報ネットワーク構築の第一歩というようなもので、今後共設備の充実はさらに続けられなければなりませんし、超高速回線の借用料をはじめとしますネットワークの運用経費が巨額のものであるだけに、今後引き続き強力な財政支援が採られることを希望している次第でございます。

何れにいたしましても、学術情報の高度情報化元年ともいふべき年に、神戸大学総合情報処理センターにおかれまして、立派な LAN をおつくりになったということは、誠に欣快の至りでございます。まさに、高度情報化社会ともいえる 21 世紀に向けての先導的な情報発信の始まりを象徴するといっても差し支えないと思います。

ここに重ねて、今日の栄えある式典に際しまして、心からの敬意とご祝辞を言上させていただきますと共に、神戸大学総合情報処理センターの益々のご発展を心から祈念いたしまして、私のお祝いの言葉といたします。どうもありがとうございました。